

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		指定障害福祉サービス事業所ねむの木苑 放課後等デイサービス事業			公表日		8年 3月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・活動などに合わせて、テーブル、玩具棚などの配置を替え対応しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		・利用定員に対して、職員基準プラス加配配置を行っております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎朝、清掃・消毒を実施しております。 また、その都度整理整頓、電化製品の清掃・消毒なども行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・クールダウンや休養など、個室を使用し対応しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎朝のミーティングの中で、前日の振り返りや意見交換などを行い、全職員で情報共有を行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・外部評価は行っていないですが、結果を業務改善につなげるため、職員間での話し合いを行っております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・今年度コンサルテーションを受け、職員間で学びを深めることが出来ました。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・事業所理念・療育理念のもと、提供形態、支援内容、取り組みなど、特色を踏まえながらプログラムを作成しております ・HPにて公開しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・役割分担で対応し、活動が被らないように話し合いを行いながら立案しております。		

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・その時の子どもたちの様子に合わせながら、活動の目的を明確にし、動と静の活動を組み合わせながら活動しております	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・翌日の朝に、ミーティングを行い前日の支援の振り返りやその日の支援について、確認や話し合いを行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・サービス提供記録に記録しているとともに、必要に応じて業務日誌にも記録し、支援の検証・改善に務めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・さまざまなツールを準備し、その都度改善しながら自己選択が出来るようにサポートしております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・日々の送迎時や、学校との情報交換会の際に、情報共有を行っております。また、声をかけていただき学校のケース会議などにも参加しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		・同法人の児童発達支援事業から放課後等デイサービスに移行する児童がいる際は、活動時の見学や支援方法などの情報共有をこまめに行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・相談支援専門員を通して情報共有を行っております。また、同事業所内であればその都度情報共有を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	・公園や公共施設を利用し、地域の方や子どもたちと関わる機会を設けるようにしております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・法人の代表が参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明を行い、変更があった際はその都度説明を行い同意を得ています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・家族から相談があった際など、相談できる時間と場所を設け相談援助を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		・年に数回、保護者学習会や親子レクリエーションなどを開催しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		・大人食堂など法人で取り組んでおります。また、事業所として地域の方をご招待し、バザーを開催しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・マニュアルを策定しております。契約時に全マニュアルの説明を行い。改訂した際は、その都度保護者に説明を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・法人の危機管理委員会を通して、事業所内での研修・訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・発作対応など保護者に確認を行い、一人ひとりに合わせた対応を作成しております。モニタリングの際にその都度確認・見直しを行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・医師の指示など保護者を通して情報共有を行い対応しております。その都度変化などないか確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・安全計画を策定し、毎月事業所点検等を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・毎月チェックリストで日々の支援の振り返りをし、年1回研修を行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・日々の様子対応等を振り返り、職員間でも十分に検討し、保護者及び本人に説明と同意を得ております。	